

みらい通信

第64号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成26年2月 5日(水)

紫波の冬まつりに参加！

紫波町で開催される冬まつりに参加するため、本研究所でも紫波中央駅ロータリーに夢灯り（牛乳パック灯ろうなど）を飾りました。当日、私たちの活動の様子を見た地域の子どもたちが、かまくらやバケツの夢灯りの制作を自主的に手伝ってくれました。うれしかった～！

今年度は、待合施設の管理人さんたちにも個人的に声かけをし、設置や点火を手伝っていただきました。また、キッチン駐車場でも夢灯りを作って飾りました。皆さんの協力のおかげですばらしい夢灯りを飾ることができました。反省会で、「来年は、地域住民を巻き込むなど、もっと、この夢灯りを広げよう」という声が聞かれました。楽しみ！楽しみ！



紫波冬まつり 2014.1.18

学校給食を食べてきました！

全国学校給食週間に合わせて、町内の小中学校の給食を作っている給食センターを見学。所長のお話を聞いた後、試食してきました。

先生の方も含め、毎日3,200食を作っているそうですが、この規模で仕入れから配送まで行っているのは、県内では紫波町だけで、配食業者に委託する町村が多くなってきているようです。

事前に希望献立を聞いているそうですが、紫波町の子どもたちは地場産の食材を使った和食が好きで、美味しいと好評のためか、残す量も他の町村より少ないようです。

東日本大震災後は、学校に給食を配る前に、教育委員会に届けられた給食を環境マイスター紫波が放射能検査をし、結果は、毎日、紫波町のHPで公表しているそうです。たくさんの人の手で作られている学校給食。これからも安全・安心なものを作り続けてほしいですね。



本日のメニューは「明治時代の給食」でした。

紫波総合高等学校生の

除雪ボランティアに感動！

岩手県立紫波総合高等学校から紫波中央駅ロータリー付近の除雪をしたいという申し出が紫波中央駅待合施設管理をしている本研究所にありました。1月は、16・23・30日の3日間、たくさんの生徒が参加し、ロータリー内の雪のかたまりをあっという間に除雪してくれました。運動部の生徒さん、制服姿の男子・女子生徒も参加してくれています。30日は雪があまり降っていなくて、除雪した雪を片づけるだけ作業となり、少し物足りなかったかもしれません。

2月3月と今後もこの活動を継続していく予定とのこと。その話を聞いた事務局は、これ以上、雪は降ってほしくないと思いつつ、善意ある若者のために少し(?)だけは、降ってもいいかなあと感じてしまいました。

高校生諸君！本当にありがとうございました！





ウォームシェアを知ってますか？

ウォームシェア(クールシェア)は、堀内正弘氏(建築家、多摩美術大学教授、NPO 法人土とみどりを守る会代表理事)が提唱者で、家庭での省エネルギーを推進するための提案。地球温暖化防止のため、過度に暖房機器に頼らない「ウォームビズ」。この考えのもと、暖房エネルギーの無駄を避けるために、みんなで暖かい空間や時間をシェアしようという取り組みです。それぞれが暖房を使うのではなく、みんなでひとつの部屋、場所に集まればエネルギーを節約することができます。また、みんなが暖房を止めてまちに出かけることでエネルギーの節約に加え、まちの活性化にもつながります。本研究所でも平成26年度に向けて、紫波町で協力してくれる独自のシェアスポット(施設やお店)を探してみたいと考えています！

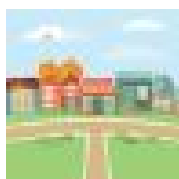


家庭やご近所でウォームシェア

みんなでひとつの部屋に集まってすごせば、エネルギー消費をへらせるとともに、コミュニケーションが深まります。ご近所でお声がけをするきっかけにも。

暖房時の室温は20 に！

暖房に頼りすぎないライフスタイルの第一歩は、暖房時の室温を20 にすること。快適な室温を保ち、効率よく暖をとるための工夫をしてみましょう。



まちでウォームシェア

家庭の暖房を止め、飲食店や温泉、図書館や公民館などでゆったり過ごしましょう。スポーツやイベントに行ったりするのもOK。集まることで、まちも元気になります。

家庭の暖房をつけっぱなしにしない！

外出時や就寝などには、こまめに暖房をとめることで、無駄なエネルギー消費を抑えることができます。

本の紹介

「森のくらし」

- 森のおじさんとゆかいな仲間たち -
中村みつを著

これはほんとはある森と山小屋を舞台にしたお話です。北八ヶ岳の森から生まれた、心なごむ42の漫画と出あいのエッセイです。

ほのぼの山小屋だよりの章では、山小屋での動物たちとのふれあいを楽しくコミカルに書いています。現実でもこんなふうに森の動物たちとふれあえたら楽しいだろうなと思わせてくれます。

森のゆかいな仲間たちの章では、森の動物をとおし、山での出来事や森の生活を描いています。

全編をとおし、森のおじさんと動物たちのふれあいが楽しく、クスッと笑ってしまいます。読んだ後、森や山に行きたいなあ~と思ってしまう本です。

癒されたい人に!お薦めの本です。



紫波町イベント情報



異聖歌童謡まつり

日時：2月11日(火)13:30～15:30
会場：紫波町中央公民館集会室
内容：異聖歌と新美南吉
異聖歌の動揺と詩の鑑賞
映像解説 「異聖歌と新美南吉」
新美南吉作、児童劇「手ぶくろを買いに」
子どもさんさ踊り
みんなで歌う童謡唱歌など
「異聖歌の童謡詩」原画展示（集会室）
主催：第13回異聖歌童謡まつり実行委員会
問合せ：紫波町日詰公民館
671-1642

子どもの朝ごはん運動

日時：2月12日 18:30～20:00
会場：オガ-ルプラザ情報交流館2階
内容：簡単おいしい朝ごはんメニュー-
手早く作れる時短メニュー-
子どもが食べやすいメニュー-の紹介
子どもと一緒にできる運動や遊び
子どもとコミュニケーションを取りながら楽しく身体を動かせる運動や遊びの紹介等
子どもの基礎体力向上のための講演会
対象：小学生以下の子供の保護者および興味のある人
申込：紫波町生活部長寿健康課 健康推進室
672-4522

第5回身体をあっためようフェア

日時：2月14日(金)10:00～13:00
場所：オガールプラザ情報交流館1階
内容：「あたため」「美肌」がテーマの販売&体験イベント
出店団体：(2/4現在出店予定)
ル-プラス・雑貨店 Waffle・にじいろ cafe・あざれ化粧品・農園か豆太
主催：(株)ル-プラス
681-2187

森のあそび場 りんくる冬

日時：2月16日(日)10時集合 12時解散
場所：紫波フルーツパーク多目的施設
内容：親子で冬の野外体験
森の探検、そりすべり、雪合戦など
参加費：1人500円(おやつ、施設料、保険等)
募集：親子10組(先着順)
持ち物：飲み物、着替え(濡れた場合)など
申込締切：2月10日(月)
主催：NPO法人紫波みらい研究所
671 2244

紫波のおひなさままつり

開催日：2月28日(金)～3月3日(月)
メイン会場：平井邸(入場協力金)
日詰商店街 自慢のお雛様展示
お休み処・お遊び処あり
琴・尺八・鼓演奏・昔話など
主催：(株)よんりん舎
後援：日詰商店街、紫波町商工会



キッチン停車場 月一度のお好み定食

日時：2月28日(金)11:00から14:00頃まで
会場：キッチン停車場(紫波中央駅ロータリー内)
料金：600円(就学時未満 200円)
内容：いつものカウンターにおかずが勢ぞろい。
その中からお客さまご自身でお好みの定食をつくりあげてください。(ごはん・味噌汁付)
この日は、いつものメニューはお休みです。

〔編集後記〕

平成26年に入り、あっという間に1月が過ぎました。Sの年齢(もうすぐ還暦)では、毎日の早いこと、早いこと!そんな中の楽しみは、やはり食べること。「キッチン停車場」のお好み定食を楽しみにしています。肉や魚、野菜も趣向を凝らしたレシピでとてもおいしいです。お客様は、主婦層が多いので、お店の人と料理の作り方で、話題が絶えません。毎日の定食、月に1回のお好み定食のほかに、月4～5回は、町内のお店の料理が味わえる日(主に木曜日)もあります。皆さんも一度、食べに来てください。おすすめですよ!(事務局S)